



だいすきいっぱい チーム愛宕

5月12日（木）、授業では学習課題の解決に向けて、自分で考えた意見を友達と交流させたり、チーム4人で話し合ったりしながら、学習を進めています。分からないことは友達同士で教え合うこともあります。担任は、1時間1時間の授業を大切に、子供たちの主体的に学ぶ姿の実現を目指し、日々授業研究・準備をしています。子供たちの学びに向かう姿に勢いや熱量を感じる事が何より嬉しいことです。

1年生の道徳では「自分も相手も気持ちよくなるのは、どんなあいさつなのかを考えよう」が学習課題でした。場面絵を見たり、友達とペアで実際にあいさつを交わしたりしながら考えていきます。全体的話し合いでは「笑顔であいさつするといい」「マスクをしていても笑った顔はわかるよ」と学習課題に迫る発言が出ました。あいさつの大切さを考えている子供たちが、相手の気持ちを考えることに気付き、あいさつの大切さに迫っていきました。この気付きを全校にも広げていきたいと思えます。

また、この日の午後、6年生は化石の特別授業がありました。講師は、内田義和先生（元葵中学校長）です。「化石あてクイズ」の「氷づけのマンモスは化石か？」には迷いました。実際の化石を触ることもできました。20日（金）には化石採集体験として瑞浪へ行きます。学校の教育課程においては、こうした体験的な学習を効果的に組み込み、子供たちの意欲化を図ります。当日は、レアものの化石の発見を期待。サメの歯の化石とか。私もバスに乗って帯同します。楽しみです。

